

熊本地震 活動報告書

報告者 本田 裕子

同行した薬剤師 長船 克彦、竹元 瑞絵、小倉 理恵子

活動期間 平成 28 年 4 月 27 日 7 時 00 分～平成 28 年 4 月 28 日 18 時 00 分

活動場所 エミナース

活動内容

4/27 (水)

- 7:00 宮崎県薬剤師会を自動車で出発しました。
- 10:00 熊本県薬剤師会に到着し、活動内容の説明を受け、昼食をとりました。OTC 薬を受け取り、エミナースへ向かいました。
- 11:30 エミナースに到着し、前日組と引継ぎをしました。
(午後から、エミナース(本田)、河原小(小倉)、山西小(竹元)、西原中(長船)へと分かれて調剤や OTC 配布の活動をしました。)
- 12:00～16:00 エミナース救護所にて調剤(11名)しました。その後は OTC 薬での対応を行いました。
- 16:00 エミナース内のトイレの衛生状況確認、ハンドソープと消毒薬の補充をしました。
- 19:00 夕食を取り、翌日の動きを確認し、OTC 対応にあたりました。
夜間は2名ずつ仮眠を取りながら OTC 対応にあたりましたが、21:00以降は、4:00に1名来られた以外は来られませんでした。

4/28 (木)

- 6:00 保健師巡回に同行する予定でしたが、伝達不足で保健師だけで巡回が終わっていました。
- 7:00 エミナース内のトイレの衛生状況確認、ハンドソープと消毒薬の補充をしました。
(小倉、竹元、長船は再び、河原小、山西小、西原中で日赤 Dr に同伴しての調剤や OTC 配布を行いました)
- 10:00～13:00 エミナースで調剤(約10件)をしながら、交代の組と引き継ぎを行いました。午後から、交代組に河原小、山西小、西原中での調剤や OTC 配布の引継ぎを行いました。
- 15:00 活動を終了し、出発しました。
- 18:00 宮崎県薬剤師会に到着しました。

感想

エミナーズは電気も水道も通っており、トイレ清掃などはボランティアの方がされており清潔な印象でした。トイレの見回りをしたり、炊き出し場にお酢を使ったハエ取りを作って設置したりなど、薬以外の仕事も薬剤師の役割だと感じました。

被災者の方々は、車中泊や、屋内の仕切りのない狭いスペースで過ごされている為、プライバシーがなくストレスがかかっているようでした。子どもが戻ってしまった吐しゃ物の処理や、インフルエンザの患者への対応など、感染を広めない事が大事だと思いました。

周りの病院や薬局はほとんど営業を再開しており、自立を促す為、渡すお薬は必要最低限の量でした。糖尿病の定期薬が切れて、病院に行けないという患者さんに一週間分処方が出ましたが、近くの薬局に分譲してもらい、そろわない薬については代替薬を提案して対応したり、小児の薬については予め去痰薬など3種類の粉薬を混合して体重別に作っておいたもので対応したりと、普段の業務との違いを感じました。

私たちは一週間ほどいらっしゃった先生方の指示を受けながら活動ができましたが、私たちが帰る時にちょうど長くいらっしゃった先生方が皆いなくなってしまった為、次の班への引継ぎが十分にできなかったのが、可能なら一度にスタッフが入れ替わるのは避けた方がいいと思いました。また、ゴールデンウィークに入る事もあり、各県からたくさんのボランティアの先生方が集まりましたが、仕事の割り振りや人数把握、スムーズな情報の伝達など指揮系統に課題を感じました。